

1 大会の記録 中学生17人

順位	学年	氏名	学校	名古屋地区中学生春季陸上競技大会 5月3日(水)、4日(木)		春日井スプリント 5月7日(日)	自己ベスト記録								
				100m	100mH 110mH		145m	200m	400m	800m	1500m	走幅跳	走高跳	400mR	
	1年	材村 かん 大村 花伶	千種	走高跳(新) 1m25			15"74						2m90	1m25	60"79
	1年	材村 かな 大野 更奈	川名	1年100m 14"28(-0.7)			14"23		(29"51)				2m98		57"82
1798	1年	つかひ 特 古川 彩葵	今池				14"93						2m45	1m15	60"58
	1年														
2834	1年	コンドウ リュウゴ 近藤 立梧	桜田	1500m(新) 5'08"59	1年100m(新) 13"56(+0.3)		13"56					5"08"59			49"73
	1年	ビシカ イチ 土方 樹	供米田	1年100m(新) 15"14(+1.2)			15"14								
	1年														
4096 1797	2年	ススキ ハナ 鈴木 暖奈	神の倉	200m(新) 28"29(-1.9)	2年100m 13"57(+1.4)		13"48	300m 45"47		28"29	65"41		4m38		51"90
	2年														
4742 2929	2年	サウジ ジン 佐藤 仁	瀬の次	200m(新) 25"93(-1.3)	2年100m(新) 12"26(+1.7)	4*100mR 48"02	12"26	300m 41"59		25"93	57"34	2"29"59	5"07"12		47"71
4743 2930	2年	ハカリ ミト 長谷川湊人	津賀田	200m(新) 29"03(-1.8)			13"97		21"80	29"03					50"82
4765 2931	2年	ムラ ケイメイ 武藤圭史朗	東陵	400m(新) 59"67	2年100m(新) 12"66(+1.5)	4*100mR 48"02	12"66		26"23	59"67		5"15"45	4m76		47"71
	2年	ムラ イチ 木村 英太	本城	1500m(新) 5'19"94						30"52		5"19"94			
	2年														
4094 4661	3年	材村 せな 大野 世奈	川名	3年100m DNS			12"63		48"94	26"57	62"29		4m82		51"90
	3年														
3419 1706	3年	材村 けい 大村 海輝	千種			中学S G100m(予選) 11"69(+1.4)	11"52		17"33	24"41			4m20		48"31
4740 2928	3年	ススキ 加キ 水野 和生	津賀田	200m 25"95(-1.3)	3年100m DNS	4*100mR 48"02	12"59	300m 40"90	18"82	25"76	59"04		4m51		47"71
4741 2913	3年	ミコト 森 光輝	桜田	800m DNS			13"21		20"96	29"35	59"33	2"17"00	1500m 4'54"15		54"16
4744 2927	3年	ススキ ユウ 水草 優斗	天白	3年100m(新) 12"60(+1.7)	4*100mR 48"02		12"60			27"53		1000m 2'58"76	3000m 10'49"44		47"71
	3年	サカキ ケイ 竹村 太雅	山王	110mH DNS	3年100m DNS		13"06		27"97	61"17					50"82
	3年	サカキ ケイ 島田 幹大	名大附	3年100m 12"20(+2.4)			12"95								
2259		カガヒ ケイ 高羽 克尚					12"10						1m85		

2 クラブ新記録(今年は何人できるかな? 楽しみだ。)

達成日	種目	選手氏名	記録
①			
②			
③			
④			

3 OB、OG、元クラブ員の活躍から

インスタが更新されています。ぜひ皆さんも子供たちの生き生きした活動の様子をご覧ください。

4 コーチのひとりごと

空気が乾燥すると記録は伸びる。まして逆走すると根を味方できる。羽が生えたようにというのはさすがにオーバーかもしれないが、走りやすい環境が重なる、今まで出なかった好記録を連発する、でも気をつける。二度三度、同じ記録が出ないと本物ではない、油断するな。後戻りするほど嫌なものはない。好記録が出たからこそ、これからの大切だ。4*100mR なご陸男子のリレーメンバーは新記録を出した。47秒7は決してすごい記録ではない。手が空いたので、自分たちでアップするつもりだったリレーメンバーを連れて北陸を出た。雨を避けて野球場の外周で練習した。気の抜けた走りにならぬよう叱咤激励した。必死にしがみついて、4人はこの記録を出した。しかし、この記録を再び出せるのだろうか。いや「現状維持は衰退だ」という言葉がある。それ以上を出さなければならぬ。だれがあの時のビリビリした緊張感をコーチなどで実現するのか。そんなときこそ、こう言いたい。「お互いに声をかけろ」「相手を思いやれ」そして、「心も体も準備をせよ」と、次は自分たちで雰囲気を作り、自分たちだけで、過去最高をたたき出す。あの時と同じ、いやそれ以上でなくては、こんな笑顔になれない。やりきってこそ自信になる。本物になる。